

令和7年度 第14回

定時総会議案

日 時 令和7年5月16日（金） 17：00

場 所 ホテル函館ロイヤルシーサイド

一般社団法人 函館建設業協会

【報告事項】

(1) 令和6年度事業報告について

令和6年度 事業報告

令和6年度は国際情勢及び新型コロナウイルス感染症の収束等により経済活動が活発化したことで物価の高騰が収まらず建設業への影響が続きました。

道内においても北海道新幹線の札幌延伸工事及び次世代半導体製造工場建設工事が進むなど経済活動が活発化しています。また、社会情勢ではデジタル化や脱炭素化といった社会全体の変化に対応していかなければならない状況となっています。

令和6年は1月に能登半島で大きな地震が発生、9月にはふたたび同地域が記録的な豪雨に見舞われ甚大な被害が発生し、改めて災害対応や防災・減災の必要性が強く感じられたところです。政府による「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化計画」が実施される中で、建設業に携わる私たちは、関係機関と連携・協力し、予算措置された事業の適切な執行に努めてきました。

道南においても、担い手である技術者・技能者の確保・育成が建設産業の喫緊の課題となっており、建設業を魅力ある職場にするために、適正な賃金の確保、時間外労働の縮減、週休2日制の推進などの働き方改革実現に向けた取り組みを進めてきたほか、生産性向上のために建設DX・i-Constructionの促進、さらには地球温暖化対策としての「ゼロカーボン北海道」等GXの促進などに取り組んできました。

建設業の健全な発展と地位向上を目的に令和6年度事業計画に基づき実施した事業について、次のとおり報告いたします。

1 社会資本整備促進のための取り組み

- (1) 国会議員・北海道議会議員等に建設業の経営の安定化、安全・安心な国土の形成と地域経済の活性化に必要な社会資本整備の促進等について引き続き要望活動を実施しました。
- (2) 北海道開発局、函館開発建設部、北海道建設部及び函館建設管理部との意見交換会などを開催し、地域経済の活性化に要する公共事業予算の拡大・確保や建設業を取り巻く課題・問題点の改善等について要望しました。

2 地域建設業の健全な発展に向けた取り組み

地域建設業の健全な発展を図るため、受注した企業が適正な利潤を得、そこに働く技術者及び技能労働者の適正な賃金水準を確保することにより雇用拡大を進めることができる「経済の好循環」を実現するため、次のとおり取り組みました。

(1) 会員企業における技術者の専門的能力の維持・向上を図るため、ポリテクセンター北海道やマネジメント専門会社並びに技士会などと連携し、技術者の継続教育（CPDS）と認められる土木・建築等に関する講習・説明会を実施しました。

(2) ICT・CCUS 活用促進及びSDGs への取り組み

建設現場における ICT 活用の更なる普及促進、CCUS の活用促進のため北海道開発局や北海道建設部と連携して取り組むとともに、経営安定化にもつながる SDGs の取組を進めました。

(3) GX・カーボンニュートラルへの取り組み

温室効果ガス排出削減と産業競争力の向上の実現に向けて経済社会システム全体の変革が求められており、化石燃料依存の社会から風力等再生可能エネルギー（クリーンエネルギー）への転換を目指す取り組みは、世界的な動きとなっております。我々建設業界も、北海道開発局及び北海道等が提唱する「ゼロカーボン北海道」に積極的に取り組み、再生可能エネルギーの活用、CO₂ 排出削減など、新技術による脱炭素の推進に取り組むとともに、昨年設立された「函館渡島檜山ゼロカーボン北海道推進協議会」のシンポジウムに積極的に参加しました。

(4) 建設DX・i-Construction の推進

建設現場における生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指す取り組みであり、北海道建設業協会DX推進委員会及びワーキンググループに参画し、取り組みを進めてまいりました。

(5) 工事発注前に発注者・設計者・施工者が協働し、各分野の技術的知識を相互に交換することにより技術力の向上・設計成果品の品質向上・施工現場の効率化を目指す「工事発注前三者検討会」を函館建設管理部と連携し引き続き開催し、令和6年度は1件の事業について検討しました。

- (6) 「建設業経営効率化」に向けた取り組みとして、函館建設管理部発注工事現場代理人等と監督員を対象とした「現場代理人等と監督員との意見交換会」は、函館建設管理部との調整がつかず開催できませんでした。
- (7) 工事施工に伴う問題点や設計積算等に関する諸課題につきましては、発注機関と土木委員会・建築委員会との意見交換会を開催しました。
- (8) 北海道建設業信用保証株式会社と連携し、経営事項審査の解説、財務問題等の情報収集に取り組むとともに、会員企業の事務担当者に対する説明会を開催しました。

3 働き方改革実現に向けた取り組み

少子・高齢化に伴う人口減少が進む中、担い手である技術者、技能者の確保・育成、若年者や女性の入職・定着の促進、ウェブ会議システム等の活用、遠隔臨場の拡大など「働き方改革」を関係機関と密接に連携し、次のとおり取り組みました。

- (1) 週休2日モデル事業への参加の呼びかけ、長時間労働の是正に向けた書類の簡素化などの推進
- (2) 適正な賃金水準の確保、社会保険未加入対策の促進
- (3) 高校生等を対象に建設業への入職促進のため、インターンシップ、建設工事現場見学会、2級施工管理技士試験受験支援、建設業経理士及び経理事務士検定試験受験支援、第一種酸素欠乏症特別教育の実施
- (4) 函館総合建設高等職業訓練校の事業活動を支援し、引き続き助成の実施
- (5) 公共事業労務費調査の適正な実施への対応
- (6) 建退共、法定外労災補償制度への加入促進
- (7) 函館工業高等学校（環境土木科、建築科）生徒との意見交換会

4 戦略的広報への取り組み

建設業への理解を深めるとともにイメージアップを図るため、次のとおり取り組みました。

- (1) 建設業戦略的広報推進委員会を開催し、当面する諸問題について協議しました。
- (2) 事業継続計画（BCP）策定（更新）のための情報提供等を行いました。
- (3) 函館建青会を引き続き支援し、高校生建設業クイズ選手権、建設現場見学会や「はたらくのりもの大集合 in 函館」などにより、一般市民に安全・安心な地域社会をつくる建設業を戦略的に広報しました。
- (4) 「建設産業ふれあい展」、「函館市防災フェスタ」に参加するなどし、建設産業が災害時対応や除雪といった地域の安全・安心を担う重要な役割を果たしていることを広報しました。
- (5) 函館工業高等学校と連携し、将来の担い手確保のため、小学生と保護者を対象とする「夏休み（冬休み）親子ものづくり教室」を開催しました。
- (6) ホームページなどにより、広報活動を推進しました。

5 労働災害防止対策及び交通安全運動の取り組み

令和5年の管内建設業での労働災害発生状況は、昭和42年の統計開始以来、平成28年について2度目となる死亡災害ゼロ件を達成しました。

しかしながら、休業4日以上労働災害は、令和4年の67名から85名と約27%も増加する結果となり、さらなる安全衛生管理体制確立の促進と労働災害防止のため、次の取り組みを進めました。

- (1) 「建設工事現場責任者等に対する労働災害防止及び労務管理講習会」、「建設工事に従事する労働者に対する安全衛生教育」等を実施し、技術者及び技能者の安全意識の向上を図りました。
- (2) 函館労働基準監督署及び発注機関との工事現場安全指導パトロールに積極的に参加し、官民一体となって労働災害防止を図りました。
- (3) 作業現場での注意喚起と作業員の安全意識を高めるため、労務安全委員会で製作した建設機械に装着するマグネット式「目玉シート」等を各方面に普及し、重機災害の防止とともに労働災害の根絶を目指しました。
- (4) 令和5年10月から「一般建築物石綿含有建材調査」の事前調査実施者は、厚生労働大臣が定める講習修了者であることが必要となりますので、建災防北海道支部と連携し、一般建築物石綿含有建材調査者講習（一般）を実施しました。

(5)「道南地区建設業交通安全大会」開催や「工事着工期、追込期における交通事故防止総ぐるみ運動」等を展開し、交通事故防止の徹底を図りました。

6 その他

地域の安全・安心を守り、地域建設業として経営強化・充実に努め、関係機関・団体等と連携を図るとともに、制度改正などを踏まえ必要な事業や行事等を実施しました。

頻発する自然災害に備え、北海道開発局及び北海道等と締結した防災協定に基づき、引き続き資機材の保有状況等を報告するとともに、災害時の連絡体制・連絡系統について検討しました。

また、渡島・檜山地方道路防災連絡協議会が主催する「渡島・檜山管内 大規模地震・津波災害を想定した道路啓開図上訓練」に積極的に参加しました。

そのほか、世界遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」や「第2青函トンネル構想の実現」に向けた広報活動などに協力しました。

令和6年度 事業実施概要

1 定時総会

年月日	議 題
6. 5. 17	<p>令和6年度定時総会は、事務局より正会員57名の内、48名の本人出席と5名の代理人出席により、有効に成立していることが報告され、森川会長の挨拶の後、定款の定めにより三好建設工業の三好会員が議長に指名され、議長の司会・進行により議案審議に移った。議案審議では、報告事項である令和5年度事業報告について事務局より総会資料に基づいて説明し、質疑もなく承認された。</p> <p>決議事項である第1号議案「令和5年度収支決算書について」を事務局より総会資料に基づいて説明があり、原案のとおり可決承認された。</p> <p>第2号議案「理事選任について」は質疑を行わず、無記名投票を実施し、14名の理事について可決承認された。</p> <p>第3号議案「監事選任の件について」は質疑を行わず、無記名投票を実施し、2名の監事について可決承認された。</p> <p>議 題</p> <p>〔報告事項〕</p> <p>令和5年度事業報告について</p> <p>〔決議事項〕</p> <p>第1号議案 令和5年度収支決算書について</p> <p>第2号議案 理事の選任について</p> <p>第3号議案 監事の選任について</p>

2 会長・副会長会議

年月日	回数	議 題
6. 4. 11	(1)	<ol style="list-style-type: none"> 1 北海道防衛局からの工事情報の説明について 2 定時総会議案について 3 その他
6. 4. 19	(2)	<ol style="list-style-type: none"> 1 第1回理事会の提出議案について 2 定時総会開催日並びに提出議案について 3 令和6年度第60回函館建設業協会表彰受賞者について 4 労務管理講習会について 5 北海道建設部との意見交換会について 6 当面の諸問題について 7 その他
6. 5. 7	(3)	<ol style="list-style-type: none"> 1 第2回理事会の提出議案について 2 定時総会提出議案について 3 当面の諸問題について 4 その他
6. 5. 17	(4)	<ol style="list-style-type: none"> 1 第3回理事会の提出議案について 2 定時総会提出議案について 3 当面の諸問題について 4 その他
6. 5. 29	(5)	<ol style="list-style-type: none"> 1 各委員会の編成について 2 北海道建設部との意見交換会について 3 今後の主要行事予定について 4 当面の諸問題について 5 その他

年月日	回数	議 題
6. 6. 17	(6)	1 函館建設業協会表彰式について 2 当面の諸問題について 3 その他
6. 7. 19	(7)	1 第4回理事会の提出議案について 2 当面の諸問題について 3 その他
6. 8. 19	(8)	1 北海道建設部との意見交換会について 2 当面の諸問題について 3 その他
6. 9. 5	(9)	1 当面の諸問題について 2 その他
6. 10. 17	(10)	1 第5回理事会の提出議案について 2 道南地区建設業交通安全大会について 3 当面の諸問題について 4 その他
6. 11. 27	(11)	1 北海道開発局との意見交換会について 2 令和7年新年交礼会について 3 全国建設業協会の表彰者について 4 当面の諸問題について 5 その他
7. 12. 13	(12)	1 第6回理事会の提出議案について 2 当面の諸問題について 3 その他

年月日	回数	議 題
7. 1. 9	(13)	1 第7回理事会の提出議案について 2 新年交礼会について 3 当面の諸問題について 4 その他
7. 2. 21	(14)	1 当面の諸問題について 2 その他
7. 3. 24	(15)	1 第8回理事会の提出議案について 2 当面の諸問題について 3 その他

3 理事会

年月日	回数	議 題
6. 4. 19	(1)	(報告事項) 1 各委員会の報告事項について 2 正会員の代表者名の変更について 3 準会員の代表者名の変更について (決議事項) 1 令和6度第13回定時総会の提出議案について 2 令和6度第13回定時総会の開催日について 3 令和6年度第60回一般社団法人函館建設業協会 表彰受賞者について (その他) 1 当面の諸問題について 2 行事予定について 3 その他

年月日	回数	議 題
6. 5. 7	(2)	(報告事項) 1 各委員会の報告事項について 2 正会員の代表者名の変更について (決議事項) 1 令和6度第13回定時総会の提出議案について (その他) 1 当面の諸課題について 2 行事予定について 3 その他
6. 5. 17	(3)	(報告事項) 1 各委員会の報告事項について 2 準会員の代表者変更について (決議事項) 1 令和6度第13回定時総会の提出議案について (その他) 1 当面の諸課題について 2 行事予定について 3 その他
6. 5. 17	臨時	1 議長選出について 2 代表理事選出について 3 副会長指名について 4 その他
6. 7. 19	(4)	(報告事項) 1 常置委員会委員について 2 各委員会の報告事項について 3 会員の代表者変更について (決議事項)

年 月 日	回 数	議 題
6. 10. 17	(5)	1 第44回建設産業交通安全大会について (その他)
		1 当面の諸課題について 2 行事予定について 3 その他
6. 12. 13	(6)	(報告事項)
		1 各委員会の報告事項について 2 会員の代表者名の変更について 3 準会員の代表者名の変更について (決議事項)
6. 12. 13	(6)	1 第44回建設産業交通安全大会の内容について (その他)
		1 当面の諸課題について 2 行事予定について 3 その他
6. 12. 13	(6)	(報告事項)
		1 各委員会の報告事項について 2 会員の代表者名の変更について (決議事項)
6. 12. 13	(6)	1 令和7年度全建表彰候補者の推薦について 2 令和7年新年交礼会の内容について (その他)
		1 当面の諸課題について 2 行事予定について 3 その他
7. 1. 9	(7)	(報告事項)
7. 1. 9	(7)	1 各委員会の報告事項について

年 月 日	回 数	議 題
7. 3. 24	(8)	2 令和7年度全建表彰候補者の推薦について 3 令和7年新年交礼会の内容について (決議事項) なし (その他) 1 当面の諸課題について 2 行事予定について 3 その他
		(報告事項) 1 各委員会の報告事項について 2 令和7年度北海道建設業協会会長表彰候補者の推薦について (決議事項) 1 令和7年度事業計画(案)について 2 令和7年度収支予算(案)について 3 事務局員の処遇について (その他) 1 当面の諸課題について 2 行事予定について 3 その他

4 委員会

(1) 総務委員会

年月日	回数	議 題
6. 4. 15	(1)	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和6年度第13回定時総会の提出議案について 2 令和6年度第60回函館建設業協会表彰受賞者について 3 当面の諸問題について 4 その他
7. 3. 14	(2)	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和7年度北海道建設業協会会長表彰候補者の推薦について 2 令和7年度事業計画(案)について 3 令和7年度収支予算(案)について 4 事務局員の処遇について 5 当面の諸問題について 6 その他

(2) 土木委員会

年月日	回数	議 題
6. 6. 6	(1)	<ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱書の交付について 2 函館開発建設部との意見交換会について 3 当面の諸問題について 4 その他
6. 8. 27	(2)	<ol style="list-style-type: none"> 1 道協会土木委員会の報告事項について 2 函館開発建設部及び函館建設管理部に対する要望事項について 3 第2回函館開発建設部等との工事現場安全パトロー

		ルについて
		4 第3回函館開発建設部等との工事現場安全パトロールについて
		5 10月22日(火)函館工業高校(環境土木科1年生)の現場見学会について
		6 当面の諸問題について
		7 その他
6. 11. 14	(3)	1 北海道開発局との意見交換会における意見集約について
		2 当面の諸問題について
		3 その他

(3) 建築委員会

年月日	回数	議 題
6. 9. 4	(1)	1 道協会建築委員会の報告事項について
		2 10月10日(木)函館工業高校(建築科2年生)の現場見学会及び建築委員との意見交換会について
		3 北海道開発局営繕部及び函館開発建設部施設整備課(営繕部門)との意見交換会について
		4 北海道防衛局令和6年度建設工事の説明について
		5 当面の諸問題について
		6 その他

(4) 労務安全委員会

年月日	回数	議 題
6. 4. 23	(1)	1 函館労働基準監督署からの情報提供
		2 令和6年度建災防安全衛生表彰について
		3 第60回北海道建設業労働災害防止大会について
		4 令和6年度建設工事現場責任者等に対する労働災害防

年月日	回数	議 題
6. 5. 24	(2)	止及び労務管理講習会開催について 5 各種作業主任者等技能講習会について 6 今年度パトロール予定について 7 当面の諸問題について 8 その他
		1 業種別労働災害発生状況について 2 函館労働基準監督署からの連絡事項について 3 第1回建設現場自主安全パトロールについて 4 第60回北海道建設業労働災害防止大会について 5 建災防函館分会通常総会・事業場表彰式について 6 函館開発建設部と函館労働基準監督署との合同パトロールについて 7 当面の諸問題について 8 その他
6. 9. 9	(3)	1 道協会労務委員会の報告事項について 2 業種別労働災害発生状況について 3 第3回函館開発建設部等との合同パトロールについて 4 第2回自主安全パトロールについて 5 第1回函館労働基準監督署との合同パトロールについて 6 第61回全国建設業労働災害防止大会について 7 函館工業高校（建築科2年生、環境土木科1年生）の工事現場見学会について 8 道南地区建設業交通安全大会について 9 令和6年度公共事業労務費調査について 10 当面の諸問題について 11 その他
6. 12. 20	(4)	1 業種別労働災害発生状況について 2 当面の諸問題について 3 その他
7. 2. 27	(5)	1 函館労働基準監督署からの情報提供 2 道協会労務研究会の報告事項について 3 業種別労働災害発生状況について 4 各種作業主任者等講習会について 5 令和7年度建災防安全衛生表彰について 6 その他

5 陳情・要望・懇談

年月日	名 称	出席者
6. 5. 14	第1回労働災害防止団体等連絡会議	大門事務局長、 荒木主事
6. 5. 29	北海道建設部との意見交換会	正副会長、土木・ 建築委員長
6. 6. 6	函館開発建設部と土木委員会との意見交換会	土木委員
6. 7. 3	北海道建設技術センター北谷理事長との意見交換会	正副会長
6. 7. 16 17	北海道建設業協会中央要請	会長
6. 7. 17	北海道開発局との公共工事の諸課題に関する意見交換会	正副会長、理事、 監事
6. 8. 7	日本銀行函館支店金融懇談会	中塚副会長
6. 8. 19	北海道建設部との意見交換会	正副会長、土木・ 建築委員長
6. 9. 12	北海道防衛局令和6年度建設工事説明会	建築委員等
6. 10. 8	函館建設管理部と土木委員会との意見交換会	土木委員

年月日	名 称	出席者
6. 10. 18	函館開発建設部と土木委員会との意見交換会	土木委員
6. 10. 21	北海道開発局営繕部及び函館開発建設部施設整備と建築委員会との意見交換会	建築委員
6. 10. 25	令和6年度北海道地域懇談会	会長
6. 11. 8	北海道建設業協会中央要請	会長
6. 11. 27	北海道開発局との公共工事の諸課題に関する意見交換会	正副会長、理事、 監事
6. 12. 3	函館建設管理部工事発注前三者検討会	土木委員
6. 12. 19	北海道建設部建築局及び北海道開発局営繕部と北海道建設業協会建築委員会との意見交換会	紀國建築委員長
7. 1. 16	北海道建設部と函館建設業協会との意見交換会	正副会長、土木・ 建築委員長
7. 1. 20	北海道開発局と北海道建設業協会との公共工事の諸課題に関する意見交換会	会長、菅原副会長
7. 1. 28	令和6年度第2回労働災害防止団体等連絡会議	大門事務局長 荒木主事

年月日	名 称	出席者
7. 1. 29	函館建設管理部と函館建設業協会事務局との意見交換会	大門事務局長、松澤部長、荒木主事
7. 2. 8	令和6年度函館市住宅都市施設公社理事会	紀國理事
7. 2. 28	第28回 渡島・檜山地方道路防災連絡協議会 総会	松澤事務部長
7. 3. 5	函館建設管理部「技能労働者への適切な賃金水準についての要請」	会長
7. 3. 11	北海道開発局及び北海道建設部と道協会土木委員会との意見交換会	高橋理事

6 研修・講習・説明会

年月日	名 称	場 所	受講者数
6. 4. 1 2	型わく支保工の組立て等作業主任者技能講習	協会3階講堂	11名
6. 4. 3	監理技術者講習	協会3階講堂	47名
6. 4. 5	フルハーネス型安全帯特別教育	協会3階講堂	53名
6. 4. 9 ～ 11	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習	協会3階講堂	19名
6. 4. 15 16	足場の組立て等作業主任者技能講習	協会3階講堂	25名

年 月 日	名 称	場 所	受講者数
6. 4. 18 19	車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）運転技能講習	協会 3 階講堂 日建機械	20 名
6. 4. 22	建設技術者向け安全衛生セミナー 「建設業の安全衛生管理」	協会 3 階講堂	59 名
6. 4. 23	建設産業育成ハイブリットセミナー	協会 3 階講堂 WE B	会員多数
6. 4. 24	ロープ高所作業特別教育	大中山コモン	27 名
6. 4. 26	車両系建設機械（解体用）運転技能講習	日建機械	20 名
6. 5. 8 ～ 10	玉掛技能講習	協会 3 階講堂 日建機械	20 名
6. 5. 14	足場作業特別教育	協会 3 階講堂	27 名
6. 5. 15	監理技術者講習	協会 3 階講堂	53 名
6. 5. 20 21	建築物石綿含有建材調査者講習（一般）	協会 3 階講堂	21 名
6. 5. 24	令和 6 年度「建設工事現場責任者等に対する労働災害防止及労務管理講習会」	ホテル函館ロイヤル	171 名

年 月 日	名 称	場 所	受講者数
6. 5. 27 28	不整地運搬車運転技能講習	協会 3 階講堂 日建機械	18 名
6. 5. 29	函館労働基準監督署「建設業トップセミナー」	協会 3 階講堂	46 名
6. 6. 5	監理技術者講習	協会 3 階講堂	36 名
6. 6. 6 7	高所作業車運転技能講習	協会 3 階講堂 日建機械	15 名
6. 6. 11 13	小型移動式クレーン運転技能講習	協会 3 階講堂 日建機械	19 名
6. 6. 27	土木施工管理技士会「社会資本維持管理基礎講座」	協会 3 階講堂	66 名
6. 7. 4	監理技術者講習	協会 3 階講堂	15 名
6. 7. 16	建設工事に従事する労働者に対する安全衛生教育	上ノ国町	17 名
6. 7. 24	「本音が聞ける！高校×企業のしゃべり場」セミナー	大沼国際セミナーハウス	渡島管内 公私立高校 、管内企業 約 100 社

年 月 日	名 称	場 所	受講者数
6. 9. 11	雇用管理研修 (ハイブリット方式)	協会 3 階講堂 WE B	20 名
6. 9. 25 ～ 27	2 級 (第一次・第二次検定) 土木施工管理技術 者検定試験受験講習会	協会 3 階講堂	5 名
6. 10. 2	監理技術者講習	協会 3 階講堂	32 名
6. 10. 2	令和 6 年度公共事業労務費調査説明会	WE B	
6. 10. 10	北海道建設業協会「I C T 講習会」	協会 3 階講堂	20 名
6. 10. 23	函館開発建設部・室蘭開発建設部「現地講習会」	協会 3 階講堂	20 名
6. 12. 5	函館工業高等学校建築科 2 年生に対する 第一種酸素欠乏作業に係る特別教育	函館工業高等学校 製図室	40 名
6. 12. 5	監理技術者講習	協会 3 階講堂	30 名
6. 12. 5	北海道開発局「I C T 活用工事 (基礎編) 講習会」	WE B	
6. 12. 5	防災士による B C P 策定セミナー	WE B	

年月日	名 称	場 所	受講者数
6. 12. 6	北海道開発局「B I M / C I M 講習会」	W E B	
6. 12. 9	北海道建設業信用保証(株)事務担当者連絡会 (札幌部会・函館部会合同開催)	協会 3 階講堂 W E B	23 名
6. 12. 16	次期「北海道強靱化計画」(素案)に係る地域説明会 (道南圏域)	渡島総合振興局 3 階講堂	33 名
7. 1. 29 30	北海道開発協会「建設事業専門研修会」	協会 3 階講堂	50 名
7. 2. 3	函館工業高等学校環境土木科 2 年生に対する 第一種酸素欠乏作業に係る特別教育	函館工業高等高校 大会議室	40 名
7. 2. 4 5	「宅地造成及び特定盛土等規制法」(盛土規制法) に関する説明会	協会 3 階講堂	会員等 35 名
7. 2. 12	監理技術者講習	協会 3 階講堂	32 名
7. 2. 26	令和 6 年度コンクリート技術講習会	北斗市かなで〜る	300 名
7. 3. 3	足場の組立て等作業主任者能力向上(定期)教育	協会 3 階講堂	9 名
7. 3. 5	職長・安全衛生責任者能力向上教育	協会 3 階講堂	24 名
7. 3. 9	令和 6 年度(下期)建設業経理検定試験	協会 3 階講堂 第 1 会議室	延べ 98 名

年月日	名 称	場 所	受講者数
7. 3. 11	ポリテクセンター北海道BCPセミナー ～建設業における災害時のリスク管理と事業継続計画～	協会3階講堂	40名
7. 3. 12	監理技術者講習	協会3階講堂	31名
7. 3. 14	安全衛生推進者能力向上(初任時)教育	協会3階講堂	中止
7. 3. 18 19	職長・安全衛生責任者教育	協会3階講堂	32名
7. 3. 25	施工管理者等のための足場点検実務者研修	協会3階講堂	29名
7. 3. 27	現場管理者統括管理講習(統括安全衛生責任者 研修)	協会3階講堂	28名

7 慶弔・厚生・行事

年月日	名 称	出席者
6. 4. 8	㈱田中組 故 松村敏文社長 お別れの会	森川会長
6. 4. 12	函館総合建設高等職業訓練校 令和6年度土木施工科集合訓練開講式	大門事務局長
6. 5. 20	函館地域温暖化対策推進協議会	松澤事務部長

年 月 日	名 称	出 席 者
6. 5. 21	北海道建設業協会表彰式	吉田会長、菅原副 会長、高橋理事、 紀國理事
6. 6. 8	函館新道「はこだて花かいどう」植栽活動	会員等多数
6. 6. 15	第1回建友クラブゴルフ大会	会員等多数
6. 6. 15	令和6年度道道函館空港線 「函館ウェルカム・ロードの会」植栽活動	会員等多数
6. 6. 18	第60回一般社団法人函館建設業協会表彰式	受賞者、来賓 会員等50名
6. 6. 21	第60回北海道建設業労働災害防止大会	会長、労務安全委 員、松澤事務部長、 荒木主事
6. 6. 24	建設工事発注機関労働災害防止連絡協議会	WEB
6. 7. 5	北海道開発局「地域創生インフラツアー」	松澤事務部長
6. 6. 30	2024函館マラソン	設営協力(森川組)
6. 7. 12	令和6年度夏の交通安全運動「飲酒運転根絶の日」決起大会	白川主事

年 月 日	名 称	出 席 者
6. 7. 19	建災防北海道支部函館分会事業場表彰式	7事業場・9社 来賓、会員等
6. 7. 22	南北海道の未来と道をつなぐ会総会	大門事務局長 松澤事務部長
6. 7. 22	R S Tトレーナー会総会・研修会	荒木主事
6. 7. 25	「H A C友の会・はこだて」令和6年度総会	大門事務局長
6. 7. 29	函館工業高等学校 建築科「夏休み 親子ものづくり教室」	荒木主事
6. 7. 30	第44回 技術者交流フォーラム事業in函館	大門事務局長、 松澤事務部長 会員等 150名
6. 8. 20	次世代半導体とほっかいどうの未来 i n 函館	松澤事務部長 W E B
6. 8. 20	函館開発建設部令和6年度災害対策用機械操作訓練	会員、荒木主事
6. 9. 3	外国人材採用・定着セミナー	大門事務局長 松澤事務部長
6. 9. 10	令和6年度函館市競輪運営協議会	大門事務局長

年月日	名 称	出席者
6. 9. 12	一般社団法人空知建設業協会 75周年記念祝賀会	山田副会長 松澤事務部長
6. 9. 21	第2回建友クラブゴルフ大会	会員等多数
6. 9. 25	第45回建設産業交通安全全道大会	会長、菅原副会長、山田副会長 大門事務局長、
6. 9. 26	本州・北海道架橋を考える会 30周年記念講演 津軽海峡からのメッセージ ～地域を育んできた橋と地域の未来を紡ぐ橋～	松澤事務部長、 会員等多数
6. 10. 3	令和6年度渡島・檜山管内 大規模地震・津波災害を 想定した図上訓練（江差地区）	松澤事務部長 白川主事
6. 10. 3 4	第61回全国建設業労働災害防止大会（東京大会）	佐藤労務安全副委員長、新山労務安全委員長、荒木主事
6. 10. 5	函館建友クラブチャリティーゴルフ大会	会員等多数
6. 10. 6	函館市防災フェスタ2024	松澤事務部長
6. 10. 17	第44回道南地区建設業交通安全大会	来賓、会員等 約100名

年月日	名 称	出席者
6. 10. 29	函館市「脱炭素セミナー」	松澤事務部長
6. 11. 7	工事現場の遠隔臨場に係るオープン遠隔臨場WEB見学会	土木委員、函館建設管理部
6. 11. 11	「函館間税会セミナー」及び「きき酒会」	大門事務局長、松澤事務部長
6. 11. 18	北海道「命のみち」づくりを求める東京大会	会長
6. 11. 19	令和6年度函館公共職業安定所雇用対策推進協議会渡島・檜山地域雇用ネットワーク会議	松澤事務部長
6. 12. 27	函館工業高等学校 建築科「冬休み 親子ものづくり教室」	荒木主事
7. 1. 6	函館市年賀会	会長、大門事務局長、松澤事務部長
7. 1. 9	令和7年函館建設業協会新年交礼会	来賓、会員等 180名
7. 1. 23	北海道建設業協会新年懇親会	会長
7. 2. 8	函館渡島檜山ゼロカーボン北海道推進協議会 GXシンポジウム	正副会長、大門事務局長、松澤事務部長、会員等多数

年 月 日	名 称	出 席 者
7. 2. 18	令和6年度刑務所出所者等就労支援推進協議会（WEB）	松澤事務部長
7. 3. 5	函館建青会総会・懇親会	大門事務局長
7. 3. 10	令和6年度第2回函館市競輪運営協議会	大門事務局長
7. 3. 14	函館総合建設高等職業訓練校 令和6年度普通職業訓練修了式	松澤事務部長
7. 3. 18	北海道議会令和7年定例会本会議見学	松澤事務部長、 会員約20名

8 若年建設従事者入職促進事業

- (1) 就業体験 令和6年7月3日(水)～5日(金)
 ・市内及び近郊の会員等事業所
 函館工業高等学校(環境土木科2年生) 39名
 〃 (建築科2年生) 39名
- (2) 就業体験 令和6年7月29日(月)～8月2日(金)
 ・市内会員等事業所
 函館工業高等学校(建築科3年生) 27名
- (3) 建設工事現場見学会 令和6年10月10日(木)
 ・マクドナルド函館美原店新築工事
 ・生徒と函館建設業協会との意見交換会
 函館工業高等学校(建築科2年生) 39名
 〃 (教 諭) 7名
 北海道建設業協会労務課長、
 函館建設業協会建築委員、労務安全委員、事務局等 計 51名
- (4) 建設工事現場見学会 令和6年10月22日(火)
 ・北海道新幹線 渡島トンネル(天狗)他工事
 函館工業高等学校(環境土木科1年生) 39名
 〃 (教 諭) 2名
 北海道建設業協会労務課長、
 函館建設業協会労務安全委員、事務局等 計 57名
- (5) 北海道函館工業高等学校 建築科「夏休み 親子ものづくり教室」
 令和6年7月29日(月)
 函館工業高等学校 実習棟2階組立実習室
 第1部 9:00 第2部 11:00 第3部 14:00
 参加:各10組 講師:函館工業高等学校建築科 2・3年生
- (6) 北海道函館工業高等学校 建築科「冬休み 親子ものづくり教室」
 令和6年12月27日(金)
 函館工業高等学校 実習棟2階組立実習室
 第1部 9:00 第2部 11:00 第3部 14:00
 参加:各10組 講師:函館工業高等学校建築科 2・3年生

9. 函館総合建設高等職業訓練校への助成事業

若年建設技術者及び熟練技能者を企業内で養成するため、昭和53年に函館総合建設高等職業訓練校に土木系、土木施工科が設置されて以来、職業訓練校の事業活動を積極的に援助するための助成を令和6年度も実施いたしました。

なお、令和7年度は、同校に土木系、土木施工科が設置されて48年目にあたりますが、第48期生7名が在籍しております。

建設現場自主安全パトロール及び
 函館労働基準監督署・函館開発建設部・函館建設管理部
 等との建設現場安全指導パトロール実施状況

回数	実施年月日 (実施主体)	事業所数				参加者						
		工種の区分	地域の区分	件数	計	監督署	開 建	建 設 管理部	会 長 副会長 理事監事	土木建築 労安委員 事務局	管理士 等外部	計
1	6.7.1 協会自主	土木	市内	3	6				10	17		27
			市外	3								
		建築	市内									
			市外									
2	6.7.24 開建・労基合同	土木	市内	2	3	1	6			5		12
			市外	1								
		建築	市内									
			市外									
3	6.8.28 開建・労基合同	土木	市内		3	1	6			5		12
			市外	3								
		建築	市内									
			市外									
4	6.9.20 開建・労基合同	土木	市内		3	1	4			3	1	9
			市外	3								
		建築	市内									
			市外									
5	6.10.1 協会自主	土木	市内	2	6				11	13		24
			市外	3								
		建築	市内	1								
			市外									
6	6.11.13 開建・労基合同	土木	市内		3	1	5			5		11
			市外	3								
		建築	市内									
			市外									
7	6.11.15 労基署合同	土木	市内	1	4	2				15		17
			市外	2								
		建築	市内	1								
			市外	1								
8	6.12.18 開建・労基合同	土木	市内	1	3	1	3			4	1	9
			市外	2								
		建築	市内									
			市外									
		土木	市内									
			市外									
		建築	市内									
			市外									
		土木	市内									
			市外									
		建築	市内									
			市外									
		土木	市内									
			市外									
		建築	市内									
			市外									
計		土木	市内	9	31	7	24	0	21	67	2	121
			市外	20								
		建築	市内	2								
			市外	0								

第1号議案

令和6年度収支決算について

収 支 計 算 書

令和6年度

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

科 目	予算額A	決算額B	予算比B-A	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 入会金収入				
入会金収入				
② 未収受取補助金				
未収北海道補助金				
③ 会費収入				
正会員会費収入	85,000,000	85,230,000	230,000	
準会員会費収入	17,000,000	18,990,000	1,990,000	
その他会費(建災防)	3,000,000	3,000,000	0	
④ 事業収入				
⑤ 補助金等収入				
北海道建設業協会助成金収入	1,400,000	1,950,947	550,947	
事務受託収入	700,000	872,000	172,000	
⑥ 雑収入				
受取利息収入	3,000	50,981	47,981	
有価証券運用収入	210,000	250,677	40,677	
雑収入 貸館料他	687,000	536,000	△ 151,000	
事業活動収入計	108,000,000	110,880,605	2,880,605	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
講習会費支出 他	55,400,000	49,377,768	△ 6,022,232	
② 管理費支出				
修繕費支出 他	39,170,000	35,989,028	△ 3,180,972	
事業活動支出計	94,570,000	85,366,796	△ 9,203,204	
事業活動収支差額	13,430,000	25,513,809	12,083,809	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 退職積立預金取崩収入				
② 固定資産売却収入				
什器備品売却益				
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
特定定期預金増加支出	10,000,000	10,000,000	0	
② 固定資産取得支出				
什器備品購入支出	1,800,000	0	△ 1,800,000	
改築修繕購入費支出			0	
投資活動支出計	11,800,000	10,000,000	△ 1,800,000	
投資活動収支差額	△ 11,800,000	△ 10,000,000	1,800,000	
III 財務活動収支の部				
定期預金取崩(繰越金減少)				
IV 予備費支出				
当期収支差額	1,000,000		△ 1,000,000	
前期繰越収支差額	630,000	15,513,809	14,883,809	
前期繰越収支差額	61,651,181	61,651,181	0	
次期繰越収支差額	62,281,181	77,164,990	14,883,809	

収 支 計 算 書 に 対 す る 注 記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位 円)

科 目	当期期末残高	当期期首残高
現金・預金	77,752,375	62,304,144
定期預金		
合 計	77,752,375	62,304,144
預り金	587,385	652,963
未納会費他	0	
合 計	587,385	652,963
次期繰越収支差額	77,164,990	61,651,181

令和6年度 貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	77,752,375	62,304,144	15,448,231
貸倒引当金			
未収入金補助金			
流動資産合計	77,752,375	62,304,144	15,448,231
2.特定資産			
(1)定期預金			
退職給付引当資産	19,833,750	19,833,750	0
減価償却充当分			
会館建替充当分	50,000,000	40,000,000	10,000,000
特別支出充当分	34,166,250	34,166,250	0
定期預金合計	104,000,000	94,000,000	10,000,000
(2)その他の固定資産			
土地	112,700,000	112,700,000	0
建物	16,677,865	20,664,117	△ 3,986,252
什器備品	550,138	700,318	△ 150,180
有価証券	2,275,000	2,275,000	0
その他の固定資産合計	132,203,003	136,339,435	△ 4,136,432
固定資産合計	236,203,003	230,339,435	5,863,568
資産合計	313,955,378	292,643,579	21,311,799
II 負債の部			
1.流動負債			
預り金	587,385	652,963	△ 65,578
未収会費			0
未払金	0		0
流動負債合計	587,385	652,963	△ 65,578
2.固定負債			
退職給付引当金	19,833,750	19,833,750	0
固定負債合計	19,833,750	19,833,750	0
負債合計	20,421,135	20,486,713	△ 65,578
III 正味財産の部			
一般正味財産	293,534,243	272,156,866	21,377,377
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	293,534,243	272,156,866	21,377,377
負債及び正味財産合計	313,955,378	292,643,579	21,311,799

正味財産増減計算書

令和6年度

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費			
正会員受取会費	85,230,000	86,350,000	△ 1,120,000
準会員受取会費	18,990,000	17,450,000	1,540,000
正会員入会金	0	0	0
その他会費	3,000,000	3,000,000	0
② 未収受取補助金			
未収北海道補助金			
③ 受取補助金等			
北海道建設業協会助成金	1,950,947	991,196	959,751
受取事務受託金	872,000	885,651	△ 13,651
④ 雑収益			
受取利息等	50,981	3,911	47,070
有価証券運用益	250,677	250,677	0
雑収益	536,000	526,000	10,000
経常収益計	110,880,605	109,457,435	1,423,170
(2) 経常費用			
① 事業費			
事業費計	49,377,768	50,782,525	△ 1,404,757
② 管理費			
管理費計	35,989,028	35,535,180	453,848
経常費用計	85,366,796	86,317,705	△ 950,909
当期経常増減額	25,513,809	23,139,730	2,374,079
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
定期預金取崩収入			
退職給付引当金戻し入れ			
固定資産資産増加額	0	154,000	△ 154,000
定期預金増加額	10,000,000	40,000,000	△ 30,000,000
経常外収益合計	10,000,000	40,154,000	△ 30,154,000
(2) 経常外費用			
固定資産減価償却・除却額	4,136,432	5,059,609	△ 923,177
固定資産取得支出	0	154,000	△ 154,000
定期預金取得支出	10,000,000	40,000,000	△ 30,000,000
退職給付引当金支出		0	0
経常外費用合計	14,136,432	45,213,609	△ 31,077,177
当期経常外増減額	△ 4,136,432	△ 5,059,609	923,177
当期一般正味財産増減額	21,377,377	18,080,121	3,297,256
一般正味財産期首残高	272,156,866	254,076,745	18,080,121
一般正味財産期末残高	293,534,243	272,156,866	21,377,377
II 指定正味財産増減の部			0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	293,534,243	272,156,866	21,377,377

財産目録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	2,116,704	
普通預金		
北洋銀行 函館中央支店	72,876,407	
北海道銀行 函館駅前支店	2,759,264	
流動資産合計		77,752,375
2. 特定資産		
定期預金		
退職給付引当資産	19,833,750	
諸行事定期預金	34,166,250	
会館建替預金	50,000,000	
(定期預金 北洋銀行 函館中央支店)	0	
(定期預金 北海道銀行 函館駅前支店)	(10,000,000)	
(定期預金 北陸銀行 函館支店)	(14,000,000)	
(定期預金 労働金庫 函館支店)	(10,000,000)	
(定期預金 青森みちのく銀行 函館支店)	(20,000,000)	
(定期預金 道南うみ街信金 函館本店)	(10,000,000)	
(定期預金 渡島信金 函館支店)	(10,000,000)	
(定期預金 函館商工信組 本店)	(10,000,000)	
(定期預金 商工中金 函館支店)	(10,000,000)	
(定額貯金 ゆうちょ銀行 函館駅前支店)	(10,000,000)	
定期預金合計		104,000,000
その他の固定資産		
土地 (設立時 函館市大森町19番6号他		
1,818㎡ (551坪)	112,700,000	
建物		
協会本館 3階建 集会所	11,740,817	
協会研修室 2階建 事務所	4,937,048	
什器備品		
パソコン他事務機器	550,138	
有価証券		
株ドーコン 4,200株	1,575,000	
ゴルフ会員権 北海道CC	700,000	
その他の固定資産合計	132,203,003	
固定資産合計		236,203,003
資産合計		313,955,378
II 負債の部		
1. 流動負債		
預り金		
職員等の源泉所得税・社会保険料	587,385	
未収会費他	0	
流動負債合計		587,385
2. 固定負債		
退職給付引当金	19,833,750	
固定負債合計		19,833,750
負債合計		20,421,135
正味財産合計		293,534,243

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

償却原価法(定額法)を採用している。ただし、取得価額と券面額との差額について重要性の乏しいものについては、取得価額により評価している。

その他の有価証券(時価のないもの)

移動平均法による原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用している。

なお、主な耐用年数は以下のとおりである。

建物	15年～50年
什器備品	3年～15年

(3) リース取引の処理方法

リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(4) 消費税等の処理方法

税込方式を採用している。

2 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円) 令和7年3月31日現在

科 目	取得価格	減価償却実施額	減価償却累計額	当期残高
協会本館	96,181,722	1,731,271	85,697,914	10,483,808
本館附属設備	18,168,020	1,437,367	16,911,011	1,257,009
研修室	21,630,000	817,614	16,692,952	4,937,048
什器備品	4,172,935	150,180	3,622,797	550,138
固定資産除却		0		
合 計	140,152,677	4,136,432	122,924,674	17,228,003

3 保証債務等の偶発債務 なし

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益 令和7年3月31日現在

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
			0
合 計	0	0	0

5 関連当事者との取引の内容 なし

6 重要な後発事象

監 査 報 告 書

一般社団法人 函館建設業協会
代表理事 吉 田 幸 雄 殿

令和7年4月10日

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度における会計及び公益目的支出計画実施報告書を監査いたしました。

その結果につき次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

各監事は、理事会その他の重要な会議に出席し理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る会計書類及び公益目的支出計画実施報告書について、監査及び検討した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書(損益計算書)、財産目録及び収支計書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当協会の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関し、不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

監 事

大江 一秀



監 事

宇 沼 淳



会員の代表者名の変更

会 社 名	旧代表者名	新代表者名	摘 要
株式会社 石井組	代表取締役会長	代表取締役社長	会社の都合により
	石 井 眞 一	小保内 義 人	(令和6年4月1日)
渡辺建設 株式会社	代表取締役会長	代表取締役社長	会社の都合により
	渡 辺 敏 明	渡 辺 一 史	(令和6年4月25日)
株式会社 森川組	会 長	代表取締役社長	会社の都合により
	森 川 基 嗣	森 川 明 紀	(令和6年5月20日)
横山興業 株式会社	代表取締役社長	取締役会長	会社の都合により
	中 村 展 之	横 山 広 幸	(令和6年6月28日)
株式会社 川村組	代表取締役	代表取締役	代表者逝去のため
	川 村 忠 義	川 村 忠 幸	(令和6年8月28日)
株式会社 中山組 函館営業所	函館営業所長	道南営業所長	会社の都合により
	疋 田 悟	三 上 順 之	(令和6年10月1日)
東陽建設 株式会社	代表取締役社長	代表取締役社長	会社の都合により
	三 上 忠 彦	川 内 康 次	(令和6年10月17日)

会 員 の 動 静

令和7年3月末現在

昭和48年度			昭和49年度			昭和50年度			昭和51年度			昭和52年度		
退会	入会	会員数												
81	1	36	116	1	0	115	0	0	115	1	0	114		
昭和53年度			昭和54年度			昭和55年度			昭和56年度			昭和57年度		
退会	入会	会員数												
0	0	114	0	0	114	0	0	114	2	0	112	1	0	111
昭和58年度			昭和59年度			昭和60年度			昭和61年度			昭和62年度		
退会	入会	会員数												
1	0	110	0	0	110	4	0	106	2	0	104	1	3	106
昭和63年度			平成元年度			平成2年度			平成3年度			平成4年度		
退会	入会	会員数												
0	0	106	2	0	104	0	0	104	1	0	103	0	0	103
平成5年度			平成6年度			平成7年度			平成8年度			平成9年度		
退会	入会	会員数												
0	0	103	0	0	103	0	0	103	1	0	102	1	0	101
平成10年度			平成11年度			平成12年度			平成13年度			平成14年度		
退会	入会	会員数												
0	0	101	2	0	99	1	0	98	3	0	95	5	0	90
平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
退会	入会	会員数												
0	2	92	1	1	92	7	0	85	1	0	84	4	0	80
平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度		
退会	入会	会員数												
9	0	71	4	1	68	2	0	66	3	0	63	0	0	63
平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
退会	入会	会員数												
1	0	62	1	4	65	0	0	65	0	0	65	3	0	62
平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
退会	入会	会員数												
1	0	61	2	0	59	1	0	58	0	0	58	1	0	57
令和5年度			令和6年度											
退会	入会	会員数	退会	入会	会員数									
0	0	57	0	0	57									